

平成 24 年度 シラバス	学年・期間・区分	5 年次 ・ 後期 ・ B 群	
	対象学科・専攻	電子制御工学科	
ネットワーク概論 (Introduction to network)	担当教員	福添 孝明 (Fukuzoe, Takaaki)	
	教員室	普通教室棟 3 階 (TEL : 42-9086)	
	E-Mail	fukuzoe@kagoshima-ct.ac.jp	
教育形態／単位の種別／単位数	講義 / 学修単位〔講義Ⅰ〕 / 1 単位		
週あたりの学習時間と回数	〔授業 (100 分) + 自学自習 (80 分)〕 × 15 回		
〔本科目の目標〕 通信技術は社会構成へ大きな影響を与える程度に急激な進化を遂げている。本科目では身の回りで使われている通信技術を紹介し、その基本的な考え方を理解することを目標としている。			
〔本科目の位置付け〕 通信技術に興味がある学生の受講を想定している。			
〔学習上の留意点〕 ネットワーク技術は、使用する目的や場所によっては、法律や内規によって使用が禁止されていることがあるため、実践する場合には十分な注意を払うこと。なお、本科目は学修単位〔講義Ⅰ〕科目であるため、指示内容について 80 分程度の自学自習 (予習・復習) が必要である。			
〔授業の内容〕			
授 業 項 目	時限数	授業項目に対する達成目標	予習の内容
1. ネットワークの歴史	2	☐ ネットワークの歴史を知ることが出来る。	ネットワークの歴史について調べておくこと。
2. TCP/IP 階層モデル	14	☐ TCP/IP 階層モデルの意味を理解出来る。 ☐ 各層 (ネットワークインターフェース、インターネット、トランスポート、アプリケーション) で用いられている技術を理解できる。	ネットワークの仕組みについて参考書を用いて勉強しておくこと。
―― 後期中間試験 ――		授業項目 1～2 について達成度を確認する。	
3. 符号と暗号	12	☐ 情報源符号化と通信路符号化が理解できる。 ☐ 代表的な符号化と暗号化を理解することが出来る。	参考書以外にも、符号理論や暗号理論などの本について目を通しておくこと。
―― 後期期末試験 ――		授業項目 1～3 について達成度を確認する。	
試験答案の返却・解説	2	各試験において間違った部分を理解出来る。	
〔教科書〕 初心者のための機械製図 第 2 版 藤本 元 森北出版			
〔参考書・補助教材〕 マスタリング TCP/IP 入門編 竹下 隆史ら、オーム社 情報理論 今井秀樹 昭晃堂			
〔成績評価の基準〕 中間および期末試験 (100%) - 授業態度			
〔本科 (準学士課程) の学習・教育目標との関連〕 3-c			
〔教育プログラムの学習・教育目標との関連〕 3-2			
〔JABEE との関連〕 (d)(1)②			

[illegible]